

年次研修振り返り

2 年次 数学科 新井雄大

今年度は以下の 2 点に重点を置き授業を行った。

1 つ目は読解力を養うことである。読解力とは文章を読んで理解することも重要であるが、それだけでなく熟考し、自身の意見を論ずることも求められる。また、文章だけではなく図や表、グラフなどの読み取りも含まれる。このことから授業内ではグループワークを通してアウトプットや表やグラフの読み取りの方法を学んでもらうことを目的とした。

2 つ目は ICT 機器の活用である。ICT 機器を用いることで黒板だけでは表すことのできなかった図形の動きや、グラフの形の変化を画面上で動かすことでより視覚的に分かりやすい授業を展開することと、授業内での前時の復習や授業外での授業の復習に ICT 機器を取り入れることで復習をしやすい環境を作ることを目的とした。

1 学期は 2 年生の授業で組合せに関する問題を扱った。既習事項から学んだことをもとに発展させる学習を行った。生徒たちが自分たちで調べ、解答を考えることで生徒が自分で考える力を養うことができた。また、発表という形式をとることで生徒が自分の言葉で伝える機会を作りアウトプットをする場面を設けることでより深い理解へとつなげることができた。

2 学期は 1 年生の授業でデータの分析についての授業を行った。この単元では生徒に数学を身近に感じてもらうために、生徒が普段接している学校内のデータを用いて授業を行った。また、紙に計算するだけではなく、実際に ICT 機器を用いて Excel で代表値の計算を行った。Excel の有用性を生徒が認識することができた一方で、操作に慣れておらず数学的な概念を扱うことが難しくなってしまった。今後はより授業内で一人 1 台端末を利用する機会を増やしていく。

3 学期には 1 年生の図形と計量の単元で三角比を用いた測量について扱った。3 学期の問題は、読解力に焦点を当てた問題を作成し、生徒が数学的な読解力を伸ばすことができるように工夫をした。特に問題を読み、自分で作図することに苦手意識がある生徒が多く、問題から必要な情報を抜きとり作図するのに苦慮する場面も見られたが、ペアワークやグループワークを通して自分たちの力で解決することができていた。

今年度は読解力に関しての指導に課題が残った。生徒が問題を読むだけでなく、必要な情報を抜き取り、自分の意見を述べることができるようにする指導の工夫等、生徒の読解力をより育むための指導法を考察していく。今後さらに数学の知識を身に付け、自身の指導力をさらに高め、より良い授業の確立を図っていく。